

福島県 高校入試情報

令和7年度福島県入試の全体傾向

●令和7年度入試の大問構成

- 大問1 漢字・語句
- 大問2 俳句 村上鬼城「よく光る高嶺の星や寒の入り」
- 大問2 俳句 飯田龍太「夏星に海も日暮れの音展く」
- 大問2 俳句 前田普羅「乗鞍のかなた春星かぎりなし」
- 大問2 俳句 中川宋淵「七ツ星樹氷の空を歩くなる」
- 大問2 俳句 尾崎紅葉「星既に秋の眼をひらきけり」
- 大問2 俳句 鷹羽狩行「流星の使ひきれざる空の丈」
- 大問3 古文「貞観政要」
- 大問4 小説 高森美由紀「小田くん家は南部せんべい店」
- 大問5 論説文 中屋敷均「わからない世界と向き合うために」
- 大問6 作文 「創作劇の上演アナウンスの原稿A・B」

例年同様、6大問構成。記述を重視する傾向があり、時間配分を想定しておくことが重要である。昨年は詩歌単元の単独問題に短歌が出題されたが、本年は俳句であった。

★福島県の入試は、『国語の新研究』でバッチリ！

■文章記述問題の対策

例年どおり、古典文章について話し合った生徒の会話文から、記述形式の読解問題が出題された。全体的に25字～50字の記述問題が多く、速く正確に必要な要素をまとめる力が必要になる。

新研究で対策！

- 巻頭特集「国語のキホン」(p. 2～5)や、ウォームアップ特集「記号選択・記述問題のキホン」(p. 26～27)では、文章記述問題の解き方・考え方を、一から丁寧に解説しています。
- 「解説・解答集」では、丁寧にわかりやすい採点基準で、文章記述問題の自己採点がしやすくなっています。

■詩歌の問題の対策

例年、詩歌が単独の大問に取り上げられている。詩・俳句・短歌などいずれのジャンルにおいても、描かれた情景や心情を問う問題が出題されている。日頃から詩歌の鑑賞に関する問題にあたり、慣れておくとうい。

新研究で対策！

- 「20 詩・短歌を味わおう」(p. 106～109)や、「21 和歌・俳句を味わおう」(p. 110～113)で、ポイントの確認と問題練習ができます。
- ふりかえりチェック「古典・詩歌(3・4章)」(p. 116～117)では、基礎的な問題を解いたあと、実際の入試(正答率つき)で確認できます。

令和7年度福島県入試では、語句の知識を問う問題が出題されました。慣用句や熟語などの知識事項をおさえておきましょう！



★福島県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
出題内容別の傾向	漢語 字句	漢字を学ぼう	●	●	●	●	
		熟語を学ぼう	●	●	●	●	
		語句を学ぼう				●	
	現代文	文脈で語句の意味を考えよう					
		展開をとらえよう			●	●	
		心情をとらえよう	●	●	●	●	
		行動の理由・人物像をとらえよう	●	●	●	●	
		文章中の表現を味わおう		●	●	●	
		話題・情報をとらえよう					
		指示語・接続語をとらえよう					
		文章を解釈しよう	●	●	●	●	
		理由をとらえよう			●	●	
		段落構成をとらえよう	●		●		
		要旨をとらえよう	●	●	●	●	
		古典	古文のかなづかい・古語を学ぼう	●	●	●	●
			古文の会話・主語をとらえよう				
	古文の展開をとらえよう		●	●	●		
	漢文・漢詩を味わおう					●	
	詩歌	詩・短歌を味わおう		●	●		
		和歌・俳句を味わおう	●			●	
	文法	文の組み立てを知ろう					
		自立語を学ぼう	●	●		●	
		付属語を学ぼう			●		
	表現・ 情報	敬語を使いこなそう		●			
		グラフ・図表をとらえよう	●	●	●	●	
		話し合いをとらえよう					
		伝え方の工夫を学ぼう					
		課題作文を書こう	●	●	●	●	
		★聞き取り問題					
別出題 傾向 形式		大問数	6	6	6	6	
	小問数	30	30	30	30		
	記号解答	12	12	10	11		
	記述式解答（漢字の読み書きも含む）	18	18	20	19		

★新研究で出題した福島県の入試問題(令和7年度)

- p. 13大問2(2) 漢字
- p. 17大問1(2) 熟語
- p. 43文学的文章
- p. 113大問1俳句